

○北杜市たかねの湯条例

平成 17 年 10 月 7 日

条例第 51 号

改正 平成 23 年 7 月 1 日条例第 17 号

平成 26 年 3 月 10 日条例第 6 号

平成 31 年 3 月 27 日条例第 2 号

令和元年 7 月 3 日条例第 2 号

(設置)

第 1 条 市民の健康の増進、福祉の向上並びに観光振興に資するため、北杜市たかねの湯を設置する。

(名称及び位置)

第 2 条 名称及び位置は、次のとおりとする。

名称 たかねの湯

位置 北杜市高根町箕輪新町 95 番地

(管理)

第 3 条 北杜市たかねの湯（以下「たかねの湯」という。）の管理は、市長が行う。

(職員)

第 4 条 たかねの湯に必要な職員を置くことができる。

(利用時間及び休館日)

第 5 条 たかねの湯の利用時間は、午前 10 時から午後 9 時までとする。

2 たかねの湯の休館日は、次に掲げるとおりとする。

(1) 毎週水曜日。ただし、その日が国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に規定する休日に当たるときは、その翌日とする。

(2) 年末年始（12 月 29 日から翌年の 1 月 3 日まで）

3 前 2 項の規定にかかわらず、市長が必要があると認めるときは、これを変更することができる。

(利用の許可)

第 6 条 たかねの湯を利用しようとする者は、あらかじめ市長の許可を受けなければならない。許可を受けた事項を変更しようとするときも同様とする。

2 市長は、その利用が次の各号のいずれかに該当するときは、前項の許可を与えないことができる。

- (1) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあると認められるとき。
- (2) たかねの湯の施設又は設備を損傷するおそれがあると認められるとき。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、たかねの湯の管理上支障があると認められるとき。

(利用の制限)

第7条 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、許可した事項を変更し、又は許可を取り消し、若しくは利用の中止を命ずることができる。

- (1) たかねの湯を利用する者（以下「利用者」という。）が許可を受けた利用の目的に違反したとき。
- (2) 利用者がこの条例又はこの条例に基づく規則若しくは市長の指示した事項に違反したとき。
- (3) 利用者が許可の申請書に偽りの記載をし、又は不正の手段によって許可を受けたとき。
- (4) 天災地変その他の避けることができない理由により必要があると認められるとき。
- (5) 公益上必要があると認められるとき。
- (6) 前各号に掲げる場合のほか、たかねの湯の管理上特に必要と認められるとき。

2 前項の規定により許可した事項を変更し、又は許可を取り消し、若しくは利用の中止を命じた場合において利用者に損害が生じても、市長はその賠償の責めを負わないものとする。ただし、前項第6号に該当する場合は、この限りでない。

(使用料)

第8条 利用者は、市長にたかねの湯の利用に係る使用料（以下「使用料」という。）を納付しなければならない。

2 使用料の額は、別表のとおりとする。

(使用料の減免)

第9条 市長は、公益上必要があると認める場合は、使用料を減額し、又は免除す

ることができる。

(使用料の不還付)

第10条 既納の使用料は、還付しない。ただし、利用者の責めに帰さない理由により利用することができないときは、この限りでない。

(指定管理者による管理)

第11条 たかねの湯の管理は、第3条の規定にかかわらず、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項の規定により、法人その他の団体であつて市長が指定するもの（以下「指定管理者」という。）に行わせることができる。

2 前項の規定によりたかねの湯の管理を指定管理者に行わせる場合は、第5条の規定にかかわらず、施設の利用形態等により、市長の承認を受けて指定管理者が定めるものとする。

3 第1項の規定によりたかねの湯の管理を指定管理者に行わせる場合は、第6条及び第7条の規定中「市長」とあるのは「指定管理者」と読み替えるものとする。

(指定管理者の業務の範囲)

第12条 指定管理者が行う業務の範囲は、次に掲げるものとする。

- (1) たかねの湯の利用の許可に関すること。
- (2) たかねの湯の施設及び設備の維持管理に関すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、たかねの湯の運営に関して市長が必要と認める業務

(利用料金)

第13条 第11条第1項の規定により、たかねの湯の管理を指定管理者に行わせる場合は、第8条第1項の規定にかかわらず、利用者は、指定管理者にたかねの湯の利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を支払わなければならない。

2 利用料金は、別表に掲げる額の範囲内で、指定管理者があらかじめ市長の承認を得て定めるものとする。この場合において、別表の規定中「使用料」とあるのは、「利用料金」と読み替えるものとする。

(利用料金の収入)

第14条 市長は、指定管理者に利用料金を当該指定管理者の収入として収受させ

るものとする。

(利用料金の減免)

第15条 指定管理者は、公益上必要があると認める場合は、あらかじめ、市長の承認を得て利用料金を減額し、又は免除することができる。

(利用料金の不還付)

第16条 既納の利用料金は、還付しない。ただし、利用者の責めに帰さない理由により利用することができないときは、この限りでない。

(損害賠償)

第17条 利用者は、故意又は過失によりたかねの湯の施設を汚染し、又は破損した場合は、市長が原状に復するに必要と認める損害額を賠償しなければならない。ただし、市長が特別の事情があると認めるときは、この限りでない。

(委任)

第18条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成18年4月1日から施行する。

(北杜市温泉事業複合施設条例の廃止)

2 北杜市温泉事業複合施設条例（平成16年北杜市条例第137号）は、廃止する。

(経過措置)

3 この条例の施行前に、廃止前の北杜市温泉事業複合施設条例（平成16年北杜市条例第137号）の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、この条例の相当規定によりなされた処分、手続その他の行為とみなす。

附 則（平成23年7月1日条例第17号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成26年3月10日条例第6号）

この条例は、平成26年4月1日から施行する。ただし、第2条、第4条、第6条、第8条、第10条、第12条、第14条、第16条、第18条及び第20条の

規定は、平成 26 年 10 月 1 日から施行する。

附 則（平成 31 年 3 月 27 日条例第 2 号）

改正 令和元年 7 月 3 日条例第 2 号

この条例は、令和元年 10 月 1 日から施行する。

附 則（令和元年 7 月 3 日条例第 2 号）

この条例は、公布の日から施行する。

別表（第 8 条関係）

区分	利用者区分		使用料	摘要
温泉施設	市民	中学生以上	410円	
		小学生	210円	
		小学生未満	無料	
		フリーパス（1箇月）	7,330円	
		フリーパス（3箇月）	15,710円	
	市民以外の者	中学生以上	680円	
		小学生	420円	
		小学生未満	無料	
		フリーパス（1箇月）	11,510円	
		フリーパス（3箇月）	27,240円	

備考 1：本施設の利用において、東京都羽村市民は、利用者区分を市民とする。

備考 2：温泉施設を利用するときは、使用料のほか、別途北杜市税条例（平成 16 年北杜市条例第 63 号）で定める入湯税を支払わなければならない。ただし、フリーパスについては、入湯税を含んでいるため、この限りでない。